

# 交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	人文学部法律経済学科
学年(出発時)	2年(2015年9月10日出発)
大学名	国立高雄師範大学
国	中華民国(台湾)
留学期間	2015年 9月 10日 ~ 2016年 8月 28日
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
9:00	
10:00	授業
11:00	授業
12:00	授業
13:00	昼食
14:00	
15:00	台湾人学生と言語交換
16:00	台湾人学生と言語交換
17:00	友人と過ごす
18:00	友人と過ごす
19:00	夕食
20:00	夕食
21:00	帰寮
22:00	課題
23:00	
0:00	就寝

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
視聴華語	15/週		中国語	レポート有・パワポでの発表・試験有

大学のサポート	
チューターの有無	有り
チューターのサポート内容	語学から日常生活まですべてサポート
語学コースの有無	無し
コース名、料金、期間等	

生活	
住居のタイプ	女子寮4人部屋
住居の名前	蘭苑
部屋タイプ	4人部屋二段ベッド
ルームメイト(国籍)	中国人2人・ベトナム人1人
室内設備	ベッド・勉強机・クローゼット・棚
共用施設	テレビ室・洗濯機・乾燥機・脱水機・浄水器
インターネット設備	有り(有線)
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	寮から徒歩5分
アルバイトの有無	無し
アルバイトの内容	無し

渡航	
Visaの種類	居留
Visa申請先	台北駐大阪経済文化弁事所
Visa取得にかかった日数	1週間程度
Visa取得にかかった費用	14380円
Visa取得方法、提出書類等	旅券・入学許可書・写真・健康診断書・申請書
留学先大学の最寄り空港までの経路	高雄国際空港→地下鉄→文化中心駅→徒歩→大学
渡航費用	114880円(1年間のオープンチケット)
ピックアップサービスの有無	有り(国立高雄師範大学の学生)

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	1年卒業が遅れる
有る場合、その理由	留学中は単位の取得ができないため
就職活動開始時期	現在未定
帰国後の進路	未定

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1元＝3.3円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	179040円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	年間約7000円(教科書代のみ)
宿舍費(月額)	約5000円(学期ごとに徴収される。長期休暇は別途必要)
光熱費(月額)	なし(夏場はエアコンの使用量により一部屋月1000円前後)
食費(月額)	約18000円(寮にキッチンがないので、ほとんど外食)
その他	旅行・お土産代・娯楽費・交通費など 15万
留学期間中にかかった費用の合計	約70万円

**感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)**

台湾留学は、毎日中国語に触れる環境があり、自分の中国語能力を大幅に進歩させることができたと思います。授業では、少人数クラスで和気藹々としており、文法や単語以外にも日常生活での疑問や最近のニュースなど実用的な中国語を学ぶことができました。また、自分の意見を発言する機会も多く、始めは簡単なことしか伝えられませんでした。しかし、クラスが上がるにつれてより詳細に伝えられるようになったことが、自分の能力アップを実感することができ嬉しかったです。また、半年過ぎてある程度中国語が上達したところで、自分の実力を測るために台湾で受けられる中国語試験を受けました。結果は、自分の目標レベルに一步届きませんでした。現在の自分の足りない部分を知ることができたと共に、その悔しさでより一層中国語の勉強を頑張ろうという気になりました。また、高雄師範大学では週に一度大学の生徒と言語交換をする機会があります。私は一人の学生と言語交換を行ったのですが、そこでは台湾の文化をより深く理解することができるほか、自分と同年代の台湾人とおしゃべりをすることができ、友達作りのきっかけにもなりました。生活面では、友達や先生など多くの台湾人がサポートしてくれたので心強かったです。私が何か相談しなくてもこまめに連絡を取ってくれたり、相談したら親身になって話を聞いて一緒に解決してくれたので、あまり不安を感じず生活することができました。また、台湾での生活を通して、日本の文化や習慣を客観的に見ることができました。台湾と日本の文化を比較することで、台湾の良さだけでなく日本の良さにも気付くことができました。これは、私が留学しなければわからなかったことだと思います。この1年間の留学で、日本では体験できない様々なことができました。始めは見知らぬ土地で知り合いがほとんどいない生活に対する不安が大きかったですが、中国語を学習し、多くの人と接することで、言語学習以外でも得たものはたくさんありました。この留学生活を生かして、残りの大学生活を頑張っていこうと思います。

### 今後留学する人へのアドバイス

海外での生活は大変なこと・不安がたくさんあります。そのため、同じ語学学校に通う日本人と行動を共にしがちですが、そうするとその国の言語を話す機会がとても少なくなります。その国の環境に慣れ、言語・文化についてより深く理解するためには、積極的に外に出て台湾人とコミュニケーションをとることが大切だと思います。一年間は自分が思っているよりも早く過ぎてしまうので、自分の興味のあることは何でもやってみてください。

報告書記入日

2016年9月2日